

## 第2次久米島町総合計画策定の経緯

### ▶審議会プロセス

第2次総合計画策定において「審議会」は、最終段階での審議にととまらず、計画策定プロセス決定、ワーキングチームメンバー選定の段階から参画し、学識経験者、町の各分野リーダー、役場リーダーが活発な議論を繰り広げながら計画策定における審議を行なった。

第1回 2015年1月21日(水)17:00～19:00

- ・全国の「総合計画」の現状について
- ・第2次久米島町総合計画策定の流れについて
- ・第1次総合計画振り返り・第2次総合計画の方向性確認

第2回 2015年2月23日(月)17:00～19:00

- ・住民アンケート実施時期、方法について
- ・ワーキングチームについて

第3回 2015年3月16日(月)17:00～19:00

- ・住民アンケート原稿の確認
- ・ワーキングチームメンバー及び進め方の確認

第4回 2015年5月25日(月)15:00～17:00

- ・住民アンケート結果報告
- ・ワーキングチーム途中経過報告
- ・第2次総合計画テーマ及び基本的枠組みの確認

第5回 2015年8月24日(月)15:00～17:00

- ・基本構想最終原稿の共有
- ・第2次久米島町総合計画タイトルについて
- ・2025年の久米島町目標人口について

第6回 2015年12月14日(月)10:00～12:00

- ・基本構想最終原稿確認
- ・基本計画概要確認
- ・計画実行に向けての今後の動き

### ▶ワーキングチームプロセス

審議会委員より推薦を受けたメンバーが「子育て」「教育」「しごと」「健康」「環境」「観光」の6チームに分かれ、ワークショップ形式で計画策定に参画。それぞれの分野の課題を見つけ、その課題解決のために「自分の立場からできること」「他の分野と繋がってできること」や「民間ができること」「行政ができること」「一緒にできること」などを協議。分野を超えた『連携』と、計画策定後の『実行』に重点を置き、熱心な協議を行なった。

第1回 2015年3月23日(月)14:00～16:00

- ・「総合計画」とは？全国の現状、久米島アイデンティティについて
- ・第2次総合計画策定 体制とスケジュール
- ・テーマ説明
- ・問題の洗い出し

人口減少の観点から一各分野から見た『選ばれない理由』の洗い出し

1. 島の人に選ばれない＝島外に出て行ってしまう理由
2. 島出身者に選ばれない＝島に帰ってこない理由
3. 島外の人に選ばれない＝久米島を訪問先、移住先に選ばない理由

第2回 2015年4月6日(月)14:00～17:00(昼の部)、19:00～22:00(夜の部)

- ・課題発見と課題解決プロセスについて
- ・問題の洗い出し結果共有
- ・原因分析
- ・解決案の検討(現行の施策・活動等の共有)

第3回 2015年4月13日(月)14:00～17:00(昼の部)19:00～22:00(夜の部)

- ・第2回会合 作業結果共有
- ・課題解決策(1) — 自分の分野の問題に対してできること
- ・課題解決策(2) — 他の分野の問題に対してできること

第4回 2015年4月21日(火)14:00～17:00

- ・自分の分野の「課題解決策」振り返り
- ・他分野の「課題解決策」に追記
- ・他分野の意見が組み込まれた、課題解決策の深掘り

## ▶ワーキングチームプロセス後半

第5回 2015年5月18日(月)12:00～13:30

- ・進捗報告
- ・ワーキングチーム意見まとめ、住民アンケート結果共有
- ・第2次総合計画の基本的方向性 確認

第6回 2015年6月3日(月)12:00～13:30

- ・住民ヒアリング、アンケート、ワーキングチームから見てきた共通テーマの確認
- ・タイトル案検討(タイトル案、タイトルに盛り込みたい要素の抽出、イメージの洗い出し)

第7回 2015年12月7日(月)12:00～13:30

- ・基本構想原稿の確認
- ・タイトル、目標人口の共有
- ・計画実現に向けた動きについて

## ▶役場ワークショップ

行政の立場から見た「島が抱える課題」を抽出し、その解決に向けて「役場ができること」「民間と連携してできること」の洗い出しを行った。また、各課ごとに第1次総合計画を振り返り、第2次総合計画策定プロセスにおける改善点や総合計画をより確実に実現するための方法について議論した。

- 第1回 2014年12月22日 13:30～15:30
- 第2回 2015年1月21日 13:30～15:30
- 第3回 2015年2月17日 13:30～15:30
- 各課ヒアリング 2015年1月22日 9:00～17:00



## ▶ヒアリング

島内のさまざまな立場の方への個別/グループヒアリングを実施。各分野の現場で抱えている課題、島で生活する上での不安や利点、今後の島づくりへの意見など「生の声」を集め計画策定プロセスでの課題抽出や施策策定の基盤とした。

町議会議長、副議長、議員/第1次総合計画策定委員/小学校校長、教員/中学校校長、教員/久米島高校校長、教員/公立久米島病院長、看護部長、医師、看護師/観光協会/観光振興基本計画策定委員/ホテル支配人、従業員/商工会事務局職員、会員/畜産農家/車海老養殖業者/飲食店経営者、従業員/食品メーカー関係者/久米島ホテル館長、職員/FMくめじまパーソナリティ/社会福祉協議会職員/母子保健推進員/子育てサークル「にじのひろば」スタッフ、利用者/町婦人会役員/NPO法人くめじま/一般社団法人久米島の海を守る会/久米島郷友会会員/三鳥会会員/久米島観光大使/島外からの移住者/島外から嫁いできた子育てママたち/子ども会役員など約120名



## ▶住民アンケート

実施:2015年3月20日回収 回答数:918部(一般510部、中高生408部)

町内の全世帯(3,915世帯)に1部ずつ配布。また役場、コンビニエンスストア、Aコープに設置した回収ボックス脇にもアンケート用紙を設置したほか、久米島町ホームページからもダウンロードできる形とした。中学校、高校でも同一のアンケートを全校生徒に配布。回答から得られたデータや意見を計画策定プロセスでの課題抽出や施策策定の基盤とした。

